

三水会会報

北里大学水産学部
同窓会会報
第 12 号

昭和61年 9 月20日 発行

編 集 者 大 野 良 樹

発 行 北里大学水産学
部同窓会

(三水会事務局)

〒151 東京都渋谷区大山町17-

17-503 ☎03(465)6569

振替口座 第一勧業銀行大手町
支店 008-1182388



(北里大学水産学部第一校舎と駐車場を望む)



学部長就任にあたって

太田 静行

この七月から、藤野先生に代って、また、水産学部長を務めることになりました。

六年前に初めて就任した時に比べると、水産学部は著しく充実してきました。入学も難しくなって、競争率もかなり高いものになりました。卒業生諸君の職場も益々広くなりました。

卒業生諸君の就職先を廻ってみることもあり、就職先の人事関係の方々と話をするときしばしばありますが、嬉しいのは、卒業生諸君の評判が極めてよいことです。何故このように評判がよいのか、私は以下のように考えてみました。

卒業生諸君の資質が元来優秀であって、大学時代、その優秀さが目立たなかった人々も職場に入ってから何年目に資質が花を開いたというように考えることもできますが、多少、我田引水的に見ると、諸君が三陸で過した三年間を無視できないように思われます。

御存知のように三陸町は風光明媚なところ。海と山の緑にかまされたところで、こういう自然の中で過すと、皆、三年も経つと、性質が素直に、また、温和になるのでしょう。社会の一員として過してゆく場合に、こういう性格は随分、諸君のためになっていると思われまふ。

卒業実験を一年間しっかりとやる制度も、社会人となって集団の中で生きてゆく場合の各人のあり方による効果をもっているようです。各人が一つのテーマをもらっていろいろと研究を進めてゆく場合、先生方と学生諸君の関係は、企業における研究室の主任研究員と各研究員の関係あるいは、一つの部や課における長と課員の関係と似たものがあり、また、半面、一つの目的に向って突き進む同志のような関係でもあります。こういう卒業実験を進めている間に、学生諸君は何時の間にか、よい意味で上役に対処する態度を身につけてゆくように思われます。

研究室の状況は一種の徒弟制度のようなところがあります。ほめられたり、叱られたりしながら、実験技術を身につけ、いろいろな物事に対処するやり方を覚えてゆきます。一年も一緒に過ごしている間には、学生諸君が叱られる回数もかなりのものになると思いますが、卒業論文をまとめる時期になると、学生諸君は叱られ上手になっていると感じることがよくあります。叱られ上手も世渡りに必要なことのひとつと考えられます。

三陸町の春、夏、秋は素晴らしいと思いますが、冬は大変にきびしいことは諸君も十分に経験したところ。ここで三回も冬を越せば、学生諸君の性格も皆たくましくなります。この「たくましさ」は社会に出てからの諸君に大いにプラスになっているのではないのでしょうか。

いずれにしても卒業生諸君が各職場において評判がよいことに我々にとつて何よりもかえ難く嬉しいことです。

卒業生諸君の数は既に千五百人を越えました。これからも毎年二百名近い諸君が卒業生の仲間に加わりまふ。卒業生諸君の数が多いことは一つの力です。派閥をつくることを望

むわけではありませんが、同期だけでなく、縦の連絡もよくし、業界に一つの勢力を築いていただきたいと思っています。

大学にいて嬉しいのは卒業した諸君が訪ねてくれることです。何か用件をもって訪ねてくれるのも頼りにされているようで嬉しいものですし、全く用件もなく、何となく訪ねてくれるのも、三陸の地が諸君の第二の故郷となっている証しのように思われて、これもまた嬉しいものです。

卒業生諸君はこれから益々多忙な時代になります。(この時期にひまで困るようではかえって心配です)忙しいということは周囲からそれだけ期待されているわけですから、卒業生諸君もそれぞれの職場で大いにがんばって下さい。

私も二度目の学部長就任に当って、水産学部の充実と発展のために全力をあげて努力したいと思ひます。卒業生諸君の変らぬ協力をお願い致します。



海洋生物を薬にできるか？

水産衛生学講座

神谷久男

海に住む生物から薬を取り出そうとする夢はもう二十年以上も続いてきた。これまでに、海洋生物のもつ成分を薬として利用できた例は極めて少ない。農薬や水虫治療薬など成功例は限られている。

にも拘らず、科学者の目が海に注がれるのは、それ相応の根拠がある。われわれが住む地上(あるいは陸上)とは生息環境が全く異なることもその一つである。彼等を取りまいて

るのは、軽い大気とは違って、重い海水なのである。当然、海洋生物の代謝には、われわれ、陸上生物とは異なる点が多々あるに相異なる。今ひとつの点は、海洋には細菌やプランクトンなどの微小生物から、鯨

などの巨大な高等脊椎動物のように非常にバラエティーに富んだ多数の生物種がいるということである。生物種が多ければ、それだけ、未知の成分も多いに違いない。しかも、海洋生物の種は新しいものが次々と発見されつつある、いわば未知の世界

である。イリオモテヤマネコやヤンバルクイナなど新種の動物の発見は世界中に報道されるほどのニューズバリュウがあるけれども、海洋生物の場合、新種の発見は珍しいことではなく、一年に報告される新種の数はどの位になるか分らないし、新種の発見は当然のことのようにも受けとられている。

「にも拘らず……」である。今日まで、これといった有効なものが出てこないのは何故であろうか。

一つの原因は有効な生理活性物質の探し方にあると思うられる。さらに、二番目の理由として、生理活性物質に対する興味の持ちかた、いいかえれば、海洋生物の活性物質を探究している科学者の興味がどこに向けられてきたかという点が考えられる。

今日まで、単離され、化学的性質が明らかにされたものの多くは、マウスを殺したり、血球を溶かしたり、あるいは強心作用を示す毒物のよう

に、毒性を伴う低分子量の物質である。また、その化学構造は有機化学者の排戦精神をかき立てずにはおかないほど複雑である。また、構造があまりにも複雑すぎて、有効な薬物を合成するモデル化合物として役立っているという話もありない。

これまで、数多くの新奇な化合物が単離されてきたが、薬理作用や生理作用などがしっかりと調べられているものは少ない。もっぱら化学構造の新奇な成分の探索が先行し、活性は付け足し程度に過ぎなかったと云うと過言であろうか。

最近、この点の反省から、*old compounds with new activity*、という言葉が聞かれるようになり、ご同慶の至りである。また、活性物質探索の対象が有機溶媒に溶けやすく、比較的精製の容易な、低分子量物質であったが、分析や精製手段の発展により、これまで、あまり手をつけられてこなかった水溶性物質や高分子成分にも対象が広がられつつある。

糖タンパク質やタンパク質は医薬品として応用する上で、様々なハنديةキヤップがあるが、活性の多様さは低分子成分のものに引けを取らない。最近、本研究室でも様々な活性を示す高分子成分を見つけている

が、なかでも、アメフラシ類の諸器官に分布するアブリシアニンと名づけた糖タンパク質は特異な性質を示す。マウスなどの癌細胞の核酸合成を阻害して、細胞を破壊するが、正常な細胞に対する毒性は弱い。アメフラシ体内で如何なる作用を果しているのか、現在、検討中であるが、他に類を見ない面白い物質の様で、今後の研究が楽しみである。

アブリシアニンのような高分子化合物を直接、医薬品にすることは仲々難しそうであるが、海洋生物の生命現象を理解する上で、重要な知見を供することができると思われる。

最近、多くの企業がバイオテクノロジーをやらなくても企業イメージが低下するとかに、様々の取組みは始めている。海洋生物に注目している企業も決して少なくない。活性物質を探索している者にとっては歓迎すべき現象であるが、現状では早急な成果を期待することはできないというのが卒直な感想である。



定期総会（役員決定）

昭和61年5月の定期総会に於て、第三期三水会代議員56名が決まりました。（内、理事16名、監事2名）64年5月までの任期期間中、仕事

の合間をぬっての三水会活動は本当に大変なことです、会の発展の為頑張ってください。

* 役員紹介

〔氏名
（期科）
星座・血液型・抱負〕

会長

長屋 信博

（1A）

獅子座・B型

「人と人との和を大切に」全ての同窓生に「利用される」三水会づくりに努めます。

副会長

其阿 弥喜嗣

（1A）

双子座・O型

皆様の御役に立つ同窓会作りに励みます！

理事

島田 和明

（1F）

山羊座・O型

三水会のためにがんばりたいと思います。

理事

大野 良樹

（1A）

山羊座・A型

もっと面白く！

理事

森下 寛

（1A）

獅子座・O型

会計

田中 和良

（2A）

魚座・A型

副会長

田村 治

（2A）

乙女座・B型

2児の父になりました。お父さんがんばろぞ！！

理事

関口 敬二

（3A）

射手座・A型

予定のたえない職業ですが、できる限りのことはさせて頂きます。

理事

石井 美華

（4A）

射手座・A型

理事

能勢 尚一

（4F）

牡羊座・B型

理事

坂本 雅哉

（6F）

蟹座・B型

理事

横堀 昌道

（2A）

牡羊座・B型

理事

長谷川 一敏

（3A）

牡羊座・O型

nice family
三水会に！

理事

畠山 俊之

（4A）

射手座・B型

皆んなが参加出来る三水会を！

理事

太田 浩司

（6F）

天秤座・O型

今だから発揮できる私の実力！

理事

中村 栄

（9A）

射手座・A型

仕事と遊びと食事には遠慮しません。

監事

(1A)

伴 圭司

牡羊座・O型

後輩のためになる
ような三水会を作
りたい。



*代議員紹介

坂本 晋

(1A)

水瓶座・B型

田村 一夫

(1A)

牡羊座・B型

10年にして里に帰る。

田代 茂年

(2A)

さそり座・A型

今年一度だけでも会に顔を出
たいと思います。

小野 十美雄

(3A)

獅子座・O型

困ったな。だれが推薦したんだろ。

鈴木 英之

(3A)

射手座・AB型

ミーティングやイベントにできる
だけ参加し、同窓会を盛り上げて
いきたい。

鈴木 一弘

(4A)

牡羊座・A型

小川 治男

(5A)

射手座・

監事

(1F)

佐々木 英生

双子座・A型

初心を忘れずにあ
りたいと思います。



奥村 誠一

(5A)

双子座・A型

もっとみんなで三水会をもちたて
よう。

神取 政司

(5A)

乙女座・B型

浅見 信生

(6A)

魚座・O型

佐藤 伊豆男

(6A)

双子座・A型

忙しくてなかなか出席できません
が迷惑をかけないよう頑張ります。

北村 敏章

(7A)

天秤座・

田中 進

(7A)

射手座・

徳田 有紀子

(8A)

水瓶座・A型

私なりに一生懸命やりますので、
暖かく見守って下さい。

恒内 省吾

(9A)

牡羊座・A型

芳賀 健二

(9A)

乙女座・O型

はじめてなんで頑張ります。

岡田 正夫

(10A)

乙女座・AB型

責任をもってやります。

本橋 清一郎

(10A)

石川 義之

(1F)

射手座・AB型

宮川 忠彦

(1F)

牡牛座・B型

研究室の紹介(現状・研究項目・
実績)を企画してみたい。

城 真市

(2F)

乙女座・A型

ま。一生懸命やります。

中村 年彦

(2F)

獅子座・O型

長 阪 基記

(2F)

さそり座・A型

今年こそ総会だけは出席したいの
ですが。

野上 勝弘

(2F)

牡牛座・A型

みなさまのじやまにならないよう
できる範囲で!

安達 泰史

(3F)

射手座・O型

御役に立てれば幸いです。

佐藤 敏行

(3F)

水瓶座・A型

エアロビクスで元気いっぱい!

西村 哲典

(3F)

山羊座・A型

微力ながら三水会発展にガンバリ
ます!

横山 茂

(4F)

牡牛座・A型

やるだけです。

高橋 明義

さそり座・O型

よろしくお願いします。

児玉 雄司

(7F)

乙女座・O型

砂原 誠司

(7F)

牡羊座・B型

ただただおどろいているばかりで
抱負なんて:

多根井 昌孝

(7F)

水缸座・?型

池田 穂高

(8F)

天秤座・AB型

すみません。まだ学生やっています。
相模っ原の方にもぜひお立ち守り
下さい。

鈴木 邦昌

(8F)

水瓶座・AB型

頑張ります。

頑張ります。

頑張ります。

頑張ります。

宮田 祐 (9F)

双子座・O型
ども。

松井 完二 (10F)

乙女座・O型

鍋谷 隆 (10F)

射手座・A型
頑張って仕事しましょう。

塩見 成一 (11F)

射手座・A型

水産学部図書館の現況

日下 兵爾

第三回生までの諸君が利用した図書館は第一校舎(本館)の一階にあった時代であり、現在の三陸キャンパス東南に位置する旧標本棟の向かいに鉄筋コンクリート3階建て(一部地階)の独立した本格的な図書館を知らない卒業生諸君があると思います。三陸に來られた折は是非図書館にも足を向けていただきたい。

図書館の業務も当時と比べれば遙かに多くなり、メイン業務である蔵書の管理と貸出しのみならず最近の図書館は科学の発展に伴って続々と公表される学術情報を、これらを利用される研究者が逸早く、タイムリに然るべき情報に接することが出来るように情報の収集も大事な仕事の一つである。これらの事を円滑に運営するために図書業務全般にわた

ってコンピュータの利用が当図書館においても主流になって来ている。

現在収蔵する図書は本学部が標榜する生命の科学としての水産学を中心に基礎科学即ち、生物学、生化学、化学等に関する和洋学術図書約一万五千冊、また内外の諸学会、協会等が刊行している学術雑誌及び各種研究機関の研究報告書等約七千冊余に達している。これらは開設当初と比較して単行本で約三倍に、雑誌類で約七倍になっている。しかし当図書館の蔵書規模はまだまだ少なく図書の年間の増加数もおおよそ五百冊に過ぎない。図書の拡充、特に専門分野の学術雑誌の拡充は大学図書館の使命の一つであるがこれらの購読料は年々高騰し図書館予算の六・七割を占め新規雑誌の購入を困難にし

ている。このような状況下にあつても当図書館の運営は年々充実されている。

全学的に電算化の方向にあるなかで当図書館においても同窓会からの寄付金を基に五十八年度からオンライン端末機を導入し、内外からの情報の収集を三陸の片田舎にあつても速やかに出来るようになった。

更に収集した学術情報を効率的に活用できるように積極的な業務サービスに努めている。まず貸出し、雑誌保管、及び一般事務の能率化をはかるため五十九年度においてマイクロコンピュータ(MICRO)を導入した。これは単なる定型的な業務を処理するだけでなく、所蔵図書、学術雑誌及び収集した各種学術情報をコンピュータに蓄積し、これらをコンピュータの検索機能を生かして効率的な活用をはかるものである。また日本語及び英文ワードプロセッサの優れたソフトを用意し、教育、及び研究活動の便に供している。

現在までのコンピュータの具体的な活用状況はワープロとしての日常的な業務に利用する他に、本来的な目的としての各種情報の蓄積は所蔵図書の入力は一六一年六月現在で和洋図書併せて三、三一〇タイトル

ンブットされており現在においても二台のコンピュータを駆使して入力に努めている。更に特定テーマの文献情報の収集として「鮭鱒類」にテーマを絞はり、その全ての情報の収集を目指して、現在文献タイトルとして三、八〇〇件を収集し、これらの全てをデータベースとして入力し、さらに収集を続けている。

次に図書館の新しい業務の一つとしてフィルムライブラリーの開設がある。従来教育フィルムは十六ミリ映画が中心であったが、ビデオの普及と、秀れた教育用ビデオフィルムが製作販売されており、十六ミリフィルムに比べて安価であり、明所で上映できる利点を有する。六十年代においてビデオ装置導入を計画し本年度装置一式(日本ビクター製 VTR・BR6400 とモニター TV300F)を購入し、ビデオフィルムは生命の科学に関するものを中心に三〇本を購入した。図書館一階セミナー室に設置し、視聴覚委員の先生方を中心にプログラムを作り定期的な上映と各研究室及び授業の一端として各先生方よりの要望により上映される。今後ビデオフィルムの収集を行いフィルムライブラリーとして拡充していく必要がある。また、これを機に

フォトビックスを購入し、学術発表用のスライドの上映もTVモニターに上映可能になった。

その他、図書館は2年に一回北里大学水産学部研究業績集を編集刊行しており今年3月に第5集を発行した。これは本学部教員が各種学術雑誌に公表した原著論文及び総説を集録したものである。

この他に図書館は複写のサービス、マイクロリーダーとプリンタの利用及び他機関との相互貸借サービスも行なっている。学生諸君の図書館の



活用を一層積極的なものとするために従来4年次生のみが書庫に出入り出来たが現在ではこれを改め完全な開放式にした。誰でも自由に書庫に入るようになった。卒業生諸君の利用も大いに歓迎致しております。

×	×
×	×
×	×
×	×



青年海外協力隊の思い出

増殖学科3回生 北之園 禎之

協力隊に参加して良かった、または時間を無駄にしたと後悔する人がいますが、私の場合は、参加して本当に良かったと、誰に恥じることもなく言えます。

正直に申しまして、北里大学の協力隊参加者は、頭より身体が先に動いているようです。机の上でゴニョゴニョせず、とにかく動き、それから考えるといったタイプが、どうも当大学の気質の様に思われます。限られた2年間の間に、自分のやる事を見つけ出し、完成して来るのですから、難しい事なのです。

私の知る限りでは、高野先輩（マラウイ）、茶木（シリア）は、協力隊の活動の中でも、特に目立った人々です。ケニアに居て、他の国々での、北里大学出身者の業績を耳にすると、やはり嬉しいものです。

さて、当の私とは申しますと、ケニアに漁協を作り、資材を安く漁師に提供する様にしました。漁協を作ると言っても、日本と違い、算数などは私よりもひどい状態ですから、

まず算数を教えて、いかにインド商人が大きな利益を得ているかを知ってもらうまでは、時間がかかりました。このプロジェクトを企画したのが、ケニアに行ってから1年後、終了したのは、私がケニアを出国する2日前でした。

店舗の設計はデンマークの専門家が、運営はオランダ政府が協力してくれることになり、私のプロジェクトは、最終的には四ヶ国の協力プロジェクトになりました。当然、公用語は英語となり、この時ほど英語を勉強したことは、後にも先にもありませんでした。

各国からは専門家が出て、日本からは私が出たの会議が何回も行われましたが、この時ほど自分の無力を感じたことはありませんでした。つまり、知識、技術力がないので、会議の中で議論ができませんのです。自分で始めたプロジェクトながら何回も嫌気がさしましたが、各国の専門家の手助けがあつて、出国までにプロジェクトが終了したときの、あの気

持ちは、言葉では言い表せないものでした。

本当に四年間居て良かったと、飛行機の中で、初めて見るケニア山を見ながら、涙が流れていくのを止めることができませんでした。時代の流れに流されることを嫌い、日本を出た私ですが、ただ外国へ行っただけではなく、出ていくとき以上の物を持って、日本に帰ってきた感じがしました。

いま、四年半を思い出してみるといろいろな事がありました。初めて水産局へ出向いたとき、部下に「ミスター・キタノ、貴方の英語は理解できない。」と言われたとき、口から自然と、「私はクイーンズ・イングリッシュを使っているのだから、君達！良く英語を勉強しなさい。」と言ったことは、今でも思い出すことです。当時は、夜になると必死に英語を勉強しておりました。

また、学生時代に空手をしていたことも大いに役立ち、国際審判員のライセンスも取りました。それからは何処へ行っても「先生、先生、」と呼ばれたので、天狗になっていました。ある時、ケニア人が私を町中で見て、「チナ、チナ、（中国人の意）」と呼ぶものですから、頭に来

てしまい、トイレに隠れたケニア人を引きずり出したところ、私は五十人以上のケニア人に囲まれてしまいました。変な処で喧嘩を始めたその後悔しましたが、運良く知り合いの警官が通りかかり、喧嘩をおさめてくれましたので助かりました。いくら空手ができるといっても、五十人の人間に一度にやられたら逃げられないですね。それ以来、天狗の鼻は折れ、自重するようになりました。

ある時、水産局の船で刺網を投網に出たのですが、インド洋に出てから、エンジンは快調に回っているのに、船は進まず、風に流されるのです。潜って調べてみると、スクリユウが無いのです。ケニアの沖を流されて、タンザニア国境で助けられましたが、漂流中には、普通見られないイトマキエイやジンベイヤ等が出てくるものですから、助けられるまでは、もう駄目かな、と思っていました。

またある時は、水産局からの依頼で地曳網を作り操業試験に行ったのですが、打合せ通りに浜にスタッフが届かないので、泳げると言うスタッフに、ロープを船から岸まで運んでもらうことにしました。しかし、海に飛び込むや、すぐにバタバタする

ものですから、私は船を操作しながら、ケニア人は変な泳ぎをするものだと思っていたのですが、実は溺れていたのです。救助して、話を聞くと、「足がつかなかったから、泳げなかった。」と言うのには、次の言葉も出ませんでした。

三水会定期総会、講演会開催される

昭和61年度定期総会

議題：60年度活動報告・決算報告

61年度活動方針・予算案

代議員および理事の改選

その他

去る5月25日、白金校舎に於て昭和61年度三水会定期総会が開催されました。

長屋会長の挨拶に続いて、60年度の活動内容が報告され、田中理事より会計報告があり、承認されました。続いて、61年度の活動方針案と予算案が承認されました。内容の詳細は9頁の表に示します。

また、今年度は、全代議員及び全理事の改選年度にあたります。

会員及び卒業研究室より推薦を受けた、増殖32名、食品28名の代議員

いくらでも思い出ありますが紙面の都合もあり、記すことができないので、又の機会にでも記したいと思います。最後に、私のように協力隊に参加しようと思っている方は、良く考えてから参加することを勧めます。

候補者について審議の結果、全員が承認されました。続いて、新代議員の中から15名の理事および2名の監事が選出されました。4、6頁に新代議員、新理事および新監事が紹介されております。

講演会

総会終了後、水産衛生学研究室教授の神谷先生をお招きして、「海洋生物を薬にできるか？」について、ご講演いただきました。ご講演の内容について、改めて神谷先生にご執筆いただき、3頁に掲載致しましたので、是非お読み下さい。

講演会終了後、一階食堂にて懇親会が行われ、約40名が出席し、盛会でした。

昭和60年度三水会収支決算

支 出 の 部			収 入 の 部		
科 目	予 算	決 算	科 目	予 算	決 算
1. 事 業 費	3,800,000	2,945,415	1. 1～7期生終身会費	200,000	0
(1) 会報発行費	1,100,000	1,126,910	2. 部会助成金	4,500,000	4,280,000
(2) 学部だより配布費	300,000	269,900	3. 預金利息	70,000	65,907
(3) 会員名簿配布費	500,000	0	4. 前年度繰越金	1,196,837	1,196,837
(4) 会員の現況把握費	150,000	40,500	5. 雑 収 入		92,000
(5) 同期会等助成費	100,000	10,000			
(6) 講演会費	100,000	52,600			
(7) 親睦会費	1,000,000	1,032,010			
(8) 学友会助成費	300,000	200,000			
(9) 就職ガイダンス費	250,000	213,495			
2. 運 営 費	1,550,000	1,706,472			
(1) 印刷・通信費	200,000	533,445			
(2) 会 議 費	200,000	285,097			
(3) 総 会 費	200,000	173,180			
(4) 事務局費	800,000	554,890			
(5) 慶 弔 費	50,000	75,000			
(6) 外 渉 費	100,000	84,860			
3. 予 備 費	616,837	202,160			
予備費支出		202,160			
4. 次期繰越金		780,697			
合 計	5,966,837	5,634,744	合 計	5,966,837	5,634,744

同期会等の助成に関するお知らせ

三水会では、会員諸氏が同期会、OB会等の集会を開催する際に、会場の補助として、一集会当り一万円の助成を行っています。是非ともご利用下さい。

申請の方法

集会開催後、参加者の名簿（卒業学科、期、氏名、住所を明記）を添えて、三水会事務局までご連絡下さい。

要件 三水会会員十名以上の集会

就職ガイダンス、三陸校舎にて開催

毎年恒例の就職ガイダンスが、去る4月20日、三陸校舎にて開催されました。今年の講師は食品学科4期卒業生の高島博志氏にお願い致しました。

島氏により約2時間にわたる実戦的な講義が行われ、三陸の寝むれる獅子達の目を覚まさせたようです。

高島氏は、就職情報に関する大手企業である「㈱リクルート」に数年間勤務した後、「㈱リクルート」より出資を受け独立し、「リクルートグループ」総代理店「㈱ページメーカー」を経営なさっており、言わば就職活動のプロです。

橘高先生、太田先生、両学科長による就職活動に関する説明の後、高



田中アパートOB会のお知らせ

拝啓、貴下ますます、ご健勝の事と存じます。

さて、久く絶えていた、田中アパートOB会を、左記によって、開催したいと思ひます。

実に、初代住人が卒業なされ十年に、なろうとしております。又、この十年間で百名以上の方々が、社会へと、巣立つて行かれました。中には、すでに第一線で、ご活躍の諸士、又、奮起一番悪戦苦闘の日々を、お過ごしの方、ここに、久方ぶりのOB会を開く運びになりました。当日は、青春の名残を惜しみつつ大いに飲み、はしゃぎたいものです、遠路の方もありましようが、ぜひご出席を切望いたします。

記

期日 昭和61年11月16日(日)

午前11時

会場 銀座アスター新宿賓館

☎03-351-4351

会費 10,000円
※新宿伊勢丹前

(当日持参のこと)

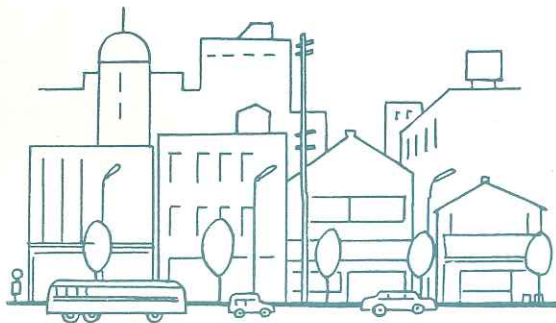
出欠 10月末日までに、下記の方々

までご連絡下さい。

詳細は3期、長谷川まで

0554(43)1014

2期	大山 義一	2期	田代 茂年
3期	長谷川 一敏	4期	富田 隆文
5期	小川 治男	5期	高柳 一夫
6期	立原 康弘	7期	日下 聡



事務局だより

♥同期会助成

水産学部卒業生が10人集まると、一万円の助成金が出ます。卒業生間の交友を深める為にお役立て下さい。

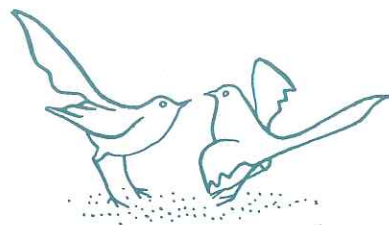
希望者は、開催日、出席者名、目的をご連絡下さい。代表者宛に助成金をお送りします。

◆北里大学三水会事務局

〒151 東京都渋谷区大山町

17の17の503

☎03(465)6569



〈編集後記〉

今回の三水会会報は、今年七月から水産学部長に再選された太田静行先生に就任にあたっての抱負を。神谷先生にはさる五月二十五日白金の北里本館にお招きし、演題「海洋生物を薬にできるか?」の講義をお願いした内容を文面にしていた。定期総会はその講演の前に行なわれ、今年は改選期にあたり第三期三水会代議員五六名が決定された。これを機会に水産学部同窓会三水会のより一層の発展を期待したい。また理事一六名・監事二名は写真入りで紹介されている。ほかの同窓生も何か要望や連絡ごとなどがあればどしどし三水会役員や三水会事務局に連絡していただきたい。期待しています。この三水会会報を紙面にOB会などお知らせとどしどし投こうしていただければ幸いです。大学の近況報告および同窓生の職場紹介など興味深いものなどとりたくさんの内容であります。

最後に太田先生の二度目の学部長の就任のあいさつの中で水産学部の充実と発展のために全力をあげて努力したいと思ひますとの文面に敬意を表するとともに同窓生の一層の協力を期待します。(S)